

平成28年2月20日(土)
岡山県古代吉備文化財センター

岡山県古代吉備文化財センターでは、一般国道2号(玉島笠岡道路)改築工事に伴い、平成27年10月から和田谷遺跡(浅口市鴨方町六条院西)とマキサヤ遺跡(浅口郡里庄町新庄)の発掘調査を進めています。

和田谷遺跡では、奈良時代(約1,300年前)から鎌倉時代(約800年前)の掘立柱建物の物などがみつかっています。また、マキサヤ遺跡では縄文時代中期から後期(約4,500～3,500年前)の土器が出土し、弥生時代(約2,100年前)の段状遺構や古墳時代(約1,800年前)の竪穴住居などもみつかっています。

このような発見は、地域の歴史を考える上でとても貴重な資料となるものです。そこで、本日はこれらの遺跡の調査成果を公開します。



- 1 土居遺跡 2 頓宮又次郎墓 3 さとみやまなか里見山中遺跡

調査位置(★印)及び周辺遺跡(縮尺1/25,000)



和田谷遺跡

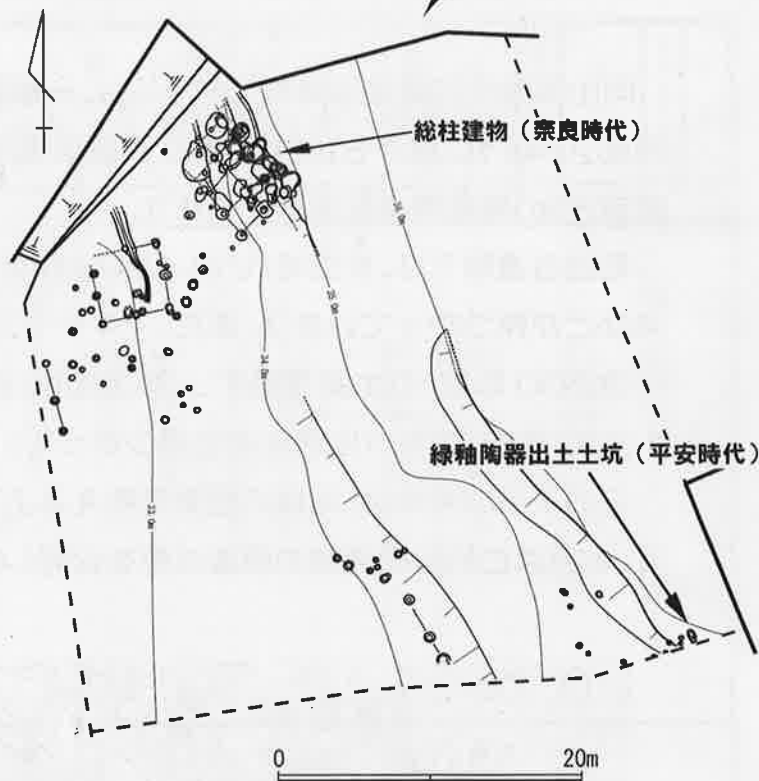
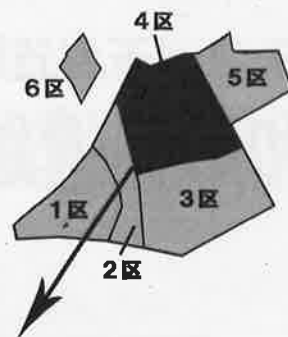
和田谷遺跡は、東側の丘陵から延びるなだらかな斜面にあります。

調査では、弥生時代から鎌倉時代にかけての遺物や掘立柱建物・土坑・溝などが見つかりました。

なかでも注目されるのは、4区の北端で確認した奈良時代(約 1,300 年前)の総柱建物で、建物の規模は最大4×2間(6×5m)と大きなものです。

また、4区の南東隅で見つかった土坑からは、平安時代(約 1,000 年前)につくられた緑釉陶器の椀が出土しました。緑釉陶器は身分の高い人が使用していたと考えられている遺物で、限られた遺跡からしか出土しない貴重品です。

総柱建物や緑釉陶器は、古代の重要な施設から見つかる例が多く、今回の発見は、浅口市周辺の古代社会の様子を解き明かすための有力な手がかりとして注目されます。



4区遺構配置図 (縮尺1/500)



奈良時代の総柱建物 (南から)



緑釉陶器の出土状況 (南から)

豆知識① 総柱建物

建物の外縁だけでなく、内側にも柱を設ける構造の建物で、多くの場合は高床となります。丈夫な床のつくりとなることから、奈良時代では収穫した米を納める倉庫などによく見られます。

豆知識② 緑釉陶器

鉛と銅を含んだ釉薬をかけて焼くことで表面を鮮やかな緑色に仕上げた陶器です。主に平安時代に生産され、高級陶器として役所や寺院、有力者の居宅などで使用されていました。

マキサヤ遺跡

マキサヤ遺跡は、谷の出口に当たる東向きのゆるやかな斜面にあります。調査の結果、縄文時代中期から室町時代にかけての遺物や^{むろまち}竪穴住居・^{いぶつ たてあなじゅうきょ}段状遺構・^{ちゅうけつれつ どうこう}柱穴列・土坑などが見つかりました。



縄文時代中期から後期(約 4,500 ～ 3,500 年前)の土器は残りが良く、今のところ遺構は見つかっていませんが、付近に当時の集落が存在していたと思われます。弥生時代中期(約 2,100 年前)の段状遺構は、長辺が約5mで隅の丸い方形をしており、内側には柱の穴と火を^た焚いた跡が見つかりました。古墳時代初頭(約 1,800 年前)の竪穴住居は、一辺約4mの方形で屋根を支えた柱の穴が2個見つかっています。

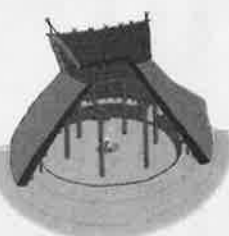
また、室町時代(約 600 年前)の柱穴列も見つかり、柱穴の一つからは銅銭が 11 枚出土しています。



室町時代の柱穴列 (北から)

豆知識③ 竪穴住居

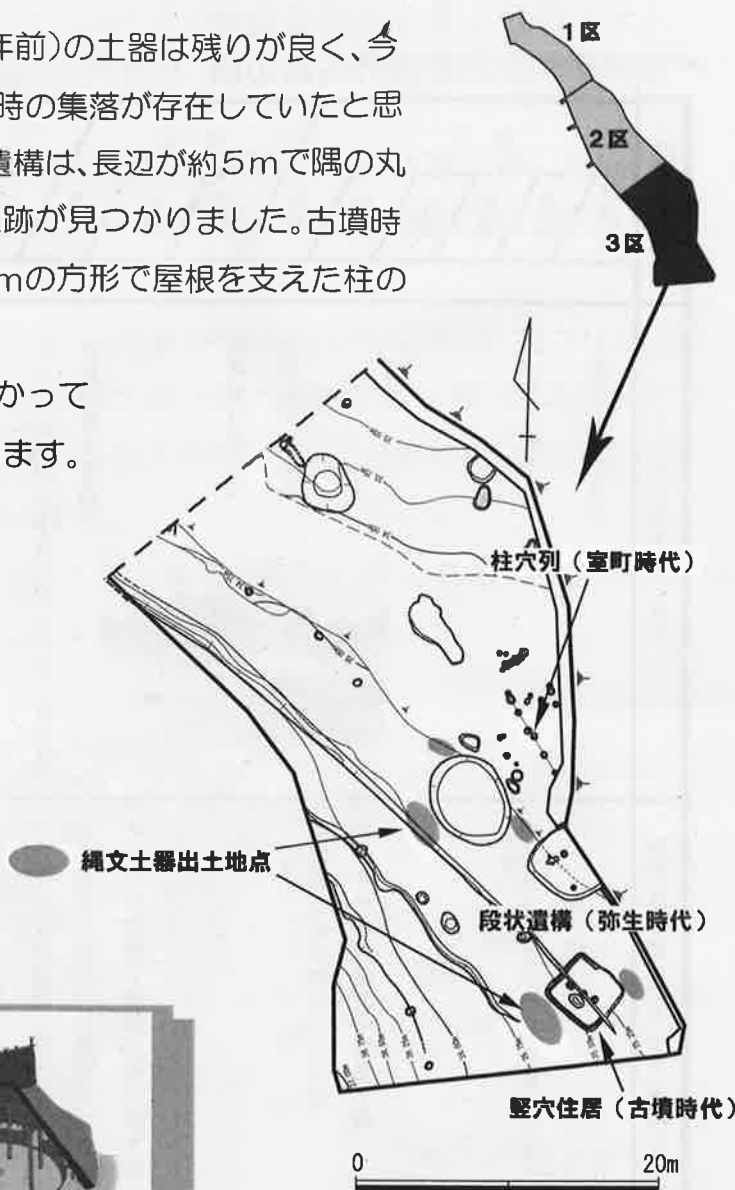
地面を円形もしくは方形に掘り下げ、数本の柱を立てて屋根をかけた半地下式の住居です。里庄町内では、今回の発掘調査で初めて見つかりました。



弥生時代の段状遺構 (西から)



古墳時代の竪穴住居 (北から)



3区遺構配置図 (縮尺1/500)

浅口市・里庄町周辺の歴史年表

	紀元前10,000年						紀元前2,000年						紀元後1年						紀元後500年						紀元後1,000年						紀元後1,500年																													
時代区分	縄文												弥生						古墳						飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土・桃山	江戸	明治・大正・昭和	平成																											
	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期																																													
	原始															古代			中世			近世			近・現代																																			
日本列島での主なできごと	貝塚が出現する 土器作りが始まる															金属器が伝わる 米作りが始まる															古墳が造られ始める 一三九 卑弥呼が中国（魏）に使いを送る 鉄器が普及する 大陸文化が広がる 五三八 仏教が伝わる 七九四 平安京に都を移す 七〇〇 平城京に都を移す															一六〇三 徳川家康が江戸幕府を開く 一四六七 応仁の乱が起る 一三三八 足利尊氏が征夷大将軍になる 一一九二 源頼朝が征夷大将軍になる 一八六七 大政奉還（江戸幕府が滅びる）														
																																																												
和田谷遺跡・マキサヤ遺跡と周辺での主なできごと	津雲貝塚（笠岡市西大島）が造られ始める															津雲貝塚の中心となる時期 マキサヤ遺跡出土の縄文土器															マキサヤ遺跡で竪穴住居が造られる 竹林寺天文台遺跡（鴨方町本庄）で竪穴住居が造られる 森山遺跡（鴨方町六条院中）で竪穴住居が造られる マキサヤ遺跡で段状遺構が造られる															和田谷遺跡で縄文土器 和田谷遺跡で柱穴列が造られる 和田谷遺跡で建物が増える 和田谷遺跡出土の縄文土器 和田谷遺跡で縄文土器が造られる 占見廃寺（金光町占見）が造られる 天神山古墳（鴨方町六条院中）が造られる 福井古墳（寄島町福井）が造られる														
																																																												

岡山県古代吉備文化財センター

〒701-0136 岡山県岡山市北区西花尻1325-3 ☎086-293-3211

<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kodai/kodaik.htm>



* 資料の転載・引用はご遠慮ください。